

まち・ひと・しごと創生

越谷市総合戦略

～愛着と誇りをもてるまち「こしがや」を目指して～

進捗状況報告書

【平成28年度】

平成29年10月

越 谷 市

目 次

1	総合戦略進捗状況報告について	1
2	総合戦略の進捗状況	3
	(1) 体系図	3
	(2) 基本目標1 安定した雇用を創出し、農業・工業・商業の均衡 のとれた職住近接のまちをつくる	4
	(3) 基本目標2 越谷の魅力を全国に発信し、人を呼び込む	9
	(4) 基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	13
	(5) 基本目標4 安全、安心、快適に住める地域をつくる	17
3	総括	22

1 総合戦略進捗状況報告について

(1) 目的

本報告書は、まち・ひと・しごと創生越谷市人口ビジョン（以下「人口ビジョン」という。）の目標（平成 72（2060）年に約 29 万 7 千人の人口維持）や、まち・ひと・しごと創生越谷市総合戦略（以下「総合戦略」という。）に掲げた 4 つの基本目標（①安定した雇用を創出し、農業・工業・商業の均衡のとれた職住近接のまちをつくる、②越谷の魅力年全国に発信し、人を呼び込む、③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、④安全、安心、快適に住める地域をつくる）の実現に向け、総合戦略に掲げる施策の着実な推進を図るため、実施した施策・事業の進捗状況を把握し、効果検証を実施することを目的とします。

(2) 総合戦略の進行管理について

総合戦略では、人口ビジョンから見えてきた課題を解決するため、一定の政策分野ごとの「基本目標」、さらに基本目標ごとに実施すべき施策を「具体的施策」として位置づけ、それぞれの内容に沿って目標値を設定しており、これらを進行管理の目安として進捗状況を把握します。また、今後検討すべき取組についても位置づけており、検討状況等を把握します。

① 基本目標

「基本目標」では、4 つの基本目標に沿って、6 つの数値目標を掲げており、目標値に対する平成 28 年度の進捗状況を把握します。

② 具体的施策

「具体的施策」では、13 の具体的施策に沿って、37 の重要業績評価指標（以下「KPI」という。）を掲げており、目標値に対する平成 28 年度の進捗状況を把握します。

③ 今後検討していく施策

「今後検討していく施策」では、4 つの基本目標に沿って、15 の施策を掲げており、平成 28 年度の施策の検討状況等を把握します。

(3) 報告書の対象年度

本報告書では、総合戦略の計画期間（平成 27（2015）～31（2019）年度）のうち、平成 28 年度の実績を示します。

(4) 総合戦略の進捗状況

① 進捗率の算出方法

進捗率は、各数値目標やKPIが計画期間内にどのくらい進捗が図れたのかを分かりやすく示すため、次のとおり算出しています。

【算出式】

$$0\% \leq \left[\text{進捗率}(\%) = \frac{\text{当該年度現況値} - \text{基準年度現況値 (平成 26 年)}}{\text{目標値 (平成 31 年)} - \text{基準年度現況値 (平成 26 年)}} \times 100 \right]$$

この算出方法は、目標値（平成 31 年）までの出発点を基準年度現況値（平成 26 年）とし、進捗率が 0%からのスタートとなるため、各指標の成果を明確に示すことができます。

(例) 経営革新計画の承認件数

$$\text{進捗率} = \frac{40 - 28}{98 - 28} \times 100 = 17.1\% \text{となります。}$$

② 現在の進捗状況

KPIには数値として表れるまでに期間を要するものもあることから、現在の進捗状況については、進捗率だけでなく、これまでの取組状況等を加味し示しています。

2 総合戦略の進捗状況

(1) 体系図

人口の目標	基本目標 (数値目標の設定)	基本的方向	具体的施策 (K P Iの設定)	具体的な事業	今後検討していく施策
平成 72 (2060) 年に約 29 万 7,000 人の人口維持	安定した雇用を創出し、農業・工業・商業の均衡のとれた職住近接のまちをつくる	産・学・金・官の連携を図り、企業のライフステージに合わせた支援を展開することにより、既存産業の成長発展・持続的発展を推進するとともに、新たな産業の育成に取り組む	地域社会を支える持続性のある産業を育成し、活性化を図る	産業活性化推進事業 創業者等育成支援事業 商店街活性化推進事業 中心市街地活性化推進事業 地域商業活性化推進事業 ものづくり産業等活性化事業	道の駅の整備 新たな流通・工業系土地利用
		商店会等が行う商店街活性化の取り組みや、魅力ある個店づくり、地域産業の育成を支援するとともに、中心市街地の活性化に取り組み、にぎわいと活力を創出する商業の振興を図る			
		本市の地理的特性を活かした企業立地を推進し、地域経済の活性化と雇用機会の拡大を図り、生活と産業の調和の取れたまちづくりを目指す			
		優良な農地を将来にわたり維持するとともに、地域の特性を活かした都市型農業を推進する。また、農業の振興が他産業の活力向上に貢献できる取り組みを推進する		持続的に農業が行われる環境をつくる	
	越谷の魅力を全国に発信し、人を呼び込む	生産年齢人口が減少する中で、国の政策と連携し、働く意欲のある若者や女性、高齢者の就労支援を図るとともに、誰もが働きやすい環境の整備に努める	雇用対策の充実を図る	高齢者就業支援事業 職業能力開発支援事業 若年者等就業支援事業	新たな都市型観光の推進 観光基盤の整備 広域連携における観光施策
		市内にある地域資源を活かし、新たな価値（ストーリー）を加えた観光を推進するとともに、集客、交流、レジャーという視点による集客交流型観光の拠点づくりに取り組む	にぎわいと活力を創出する観光の振興を図る	観光推進事業 観光資源魅力創造事業	
		2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、インバウンド観光に対応した新たな観光メニューの開発や人材の発掘・育成に取り組む。また、民間事業者と連携し、外国人観光客のニーズを捉えた効果的なプロモーションを実施する			
		市民の愛着度（シビックプライド）に繋がる特色ある観光事業をはじめ、特産品や越谷特別市民「ガーヤちゃん」の活用並びに映画やテレビドラマなどのロケーション撮影を誘致するフィルムコミッションを推進する。また、観光・物産などの情報を発信する施設を整備し、市内外に“こしがや”の魅力を発信する		“こしがや”の情報を積極的に発信する	
	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	子育てに関する情報提供を充実し、地域で子どもを産み育てるサポート体制の取り組みを進める		地域で子育てを支援する	母子健康づくり事業 子育てサロン事業 ファミリー・サポート・センター事業
		仕事と生活の調和を推進する	仕事と生活の調和を推進する	男女共同参画支援センター管理運営事業 若年者等就業支援事業（再掲）	
		保育ニーズに対応した施設等の整備を進め、待機児童の解消を図る	子どもを育てやすい環境を整える	子育て充実事業 病児保育事業 保育ステーション事業 保育環境改善事業 学童保育室整備事業	
		児童生徒の快適な学習環境を確保し、質の高い教育環境を整える	生きる力を育む学校教育を進める	小中一貫教育の推進 校内系ネットワーク運用事業 伝統文化を尊重し国際性を育む教育 小中学校施設空調設備設置事業	
安全、安心、快適に住める地域をつくる	公共施設等総合管理計画に示された公共施設等の老朽化対策に基づき、市民との情報共有を図りながら、市民が公共施設等を安全で快適に利用できるような計画的な公共施設等のマネジメントを行う	公共施設等の適正な管理を図る	公共施設等総合管理事業 道路舗装事業 掃きよう耐震化整備事業	公共施設のマネジメント	
	市民が安心を実感して暮らせるよう、救急医療体制をはじめ、保健、医療の充実を図る	地域医療体制の充実及び高齢者を地域で支えあう仕組みを整備する	夜間急患診療所運営事業 市立病院運営事業 地域福祉ネットワーク推進事業 認知症総合支援事業 特別養護老人ホーム等施設整備事業	新保健センターの整備 介護人材の確保	
	地域包括支援センターの充実、地域包括支援ネットワークの拡充により、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯なども安心して暮らせるまちを構築する	防災力・防犯力を強化する	災害予防対策事業 自主防災組織育成事業 防災施設整備事業 防犯対策事業	空き屋の適正管理及び活用 地域公共交通網の充実	
	相互の助け合いや地域の連帯感をより一層高めるとともに、自主的な防犯活動を積極的に支援する				
	災害時に迅速かつ適切な活動を実施するため、地域での自主防災組織の整備や人材の育成強化、要配慮者対策に取り組むとともに、防災訓練の一層の充実を図るなど、防災意識の高揚と防災力の強化を図る		雨水災害の対策を進める	排水路整備事業 応急対策事業（浸水対策） 排水機場施設維持管理事業 公共下水道管路整備事業（雨水） 公共下水道ポンプ場改修事業	更なる治水対策の推進 道の駅の整備（再掲）

(2) 基本目標 1 安定した雇用を創出し、農業・工業・商業の均衡のとれた職住近接のまちをつくる

基本目標 1 については、基本目標に対する 2 つの数値目標と具体的施策に対する 12 の K P I を掲げています。また、具体的施策については、3 つの施策に分類し、施策①に 6 つの K P I、施策②に 3 つの K P I、施策③に 3 つの K P I を掲げています。

◆具体的施策について

施策①の進捗状況については、6 つの K P I のうち計画通り進捗しているものが 5 つ、計画より遅れているものが 1 つとなっています。

計画通り進捗している K P I として、「経営革新計画の承認件数」については、導入講座としてのセミナー開催や越谷市産業雇用センターでの経営相談、越谷商工会議所と連携した支援を行ったことにより、承認件数の増加が図られ、市内企業の経営計画の推進につながったものと考えています。今後についても、引き続き事業を継続するとともに、地域産業支援機関と連携した支援体制を強化していきます。また、その他の K P I についても、事業の継続、支援体制の強化やよりニーズにあった事業展開を行っていきます。

計画より遅れている「創業を支援した件数」については、事業等に関する周知不足等により創業希望者の掘り起こしが進まなかったことから、今後事業の一部見直しや各種団体との連携を引き続き行い、制度の周知及びより幅広い創業希望者の発掘に努めることで、目標が達成できるものと考えています。

施策②の進捗状況については、3 つの K P I とも計画通りに進捗しています。そのうち「農産物直売所における地場農産物の売上高」については、地場農産物の販売促進や学校給食での食材の活用、イベントでの P R 等を行ったことにより、売上高の増加につながったものと考えています。今後についても、その他の K P I を含め、引き続き事業を継続していくことで、着実に進捗が図れるものと考えています。

施策③の進捗状況については、3 つの K P I のうち、計画通り進捗しているものが 1 つ、計画より遅れているものが 2 つとなっています。

計画通り進捗している「シルバー人材センター就業者数」については、就業機会の確保のため、事業所や個人家庭へ積極的に訪問活動等を実施したことにより、就業者数の増加につながったものと考えています。今後についても、引き続き事業を継続していきます。

計画より遅れている K P I として、「セミナー等受講者数」については、昨年度実績値は上回ったものの、経済情勢や景気動向の好転に伴う有効求人

倍率の上昇により、求職希望者が減少傾向にあることから、受講者数に影響したものと考えています。今後については、内容の見直しや新たな視点で事業を再構築することで、目標を達成したいと考えています。また、「若年者等就業支援事業における年間延べ相談件数」についても、事業内容の再検討等を実施することで、目標を達成したいと考えています。

◆数値目標について

数値目標の進捗状況については、「市内事業所従業者数」は、毎年の実績値の算出が困難な数値目標であるため、達成率には表れてはいないものの、具体的施策の事業が着実に進捗していることから、数値目標の達成は可能であるとと考えています。また、「市内総生産額」については、景気の影響により左右される一面もありますが、数値目標の達成に向け、効果的な事業展開を図っていくことで、達成が可能であると考えています。

◆今後検討すべき施策について

今後検討すべき施策の検討状況については、3つの施策のうち1つが事業展開しております。事業展開している「道の駅整備」については、道の駅を設置するための基礎調査を実施するための「越谷市道の駅基礎調査業務委託」の発注をし、候補地や施設のコンセプト等の検討を進め、(仮称)越谷市道の駅基本構想(案)の作成を行いました。今後については、適地選定に取り組むとともに、事業化に向け、事業手法についての調査・検討を行っていきます。また、他の施策については、関係機関との協議等を行いながら、引き続き諸準備を進めていきます。

◆まとめ

基本目標1については、12のKPIのうち、9つが計画通りに進捗、3つが計画より遅れている状況にあります。数値目標については、達成率にはあまり表れていない状況ではありますが、様々な取組や手法を講じ、より効率的で効果的に事業を展開していくことで、「安定した雇用を創出し、農業・工業・商業の均衡のとれた職住近接のまち」を実現できるものと考えております。

基本目標1: 安定した雇用を創出し、農業・工業・商業の均衡のとれた職住近接のまちをつくる

考え方: 首都近郊という地理的優位性を活かし、農業・商工業の活性化を図るとともに、新たな雇用を創出し、賑わいと活力のある職住近接のまちを目指す

●基本目標における数値目標

数値目標	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	実績		所管課	現在の進捗状況	今後の見通し
				平成28年度	進捗率(%)			
市内事業所従業者数	人	120,000	116,916	116,916	0.0	産業支援課	平成28年度に経済センサス活動調査が実施されたが、統計結果が公表されておらず、平成26年経済センサス-基礎調査が現時点での最新のデータとなっている。	産業活性化推進事業や創業者等育成支援事業等の戦略事業を効果的かつ着実に推進していくことで、目標達成は可能なものと考える。
市内総生産額	百万円	864,317	778,776	783,591	5.6	産業支援課	データ公表時期の関係で、平成26年基準値⇒平成24年度市内総生産額(名目) 平成28年現況値⇒平成26年度市内総生産額(名目)である。 また、公表結果は公表済みの平成25年度以前の数値も改定される。 ・平成24年度から平成26年度の市内総生産額(名目)は、約0.6%増加。 ・本数値は戦略策定前の値であり、戦略の効果が把握できるのは平成27年度のデータが公表される来年度からになる。	本数値目標については、平成25年度以降の国の景気動向等から、本市の市内総生産額も引き続き上昇トレンドにあるものと推測して設定している。ただし、平成25年度以降は国・県等の総生産額とは異なる変化も見られる。景気の影響にも左右されるため、目標金額の達成については明言しづらいが、前年比1.5%の上昇率を堅持できるよう、より効果的な事業展開を図っていく。

●具体的施策の重要業績評価指標(KPI)

【施策①】地域社会を支える持続性のある産業を育成し、活性化を図る

KPIの名称	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	実績		所管課	現在の進捗状況	関連する具体的事業	事業を進める上で、工夫している点	遅れている理由(問題点や課題)	今後の見通し
				平成28年度	進捗率(%)						
経営革新計画の承認件数(平成23年度からの累計)	件	98	28	62	48.6	産業支援課	計画通り	産業活性化推進事業	具体的な取組内容 ・経営革新計画の承認に向けた導入講座として、経営革新計画策定セミナー(全2回)を開催。 ・越谷市産業雇用支援センター二番館で経営相談を実施。企業支援コーディネーターが、企業の計画経営に向け支援を行った。 ・H27年度13件、H28年度21件 工夫した点 ・越谷商工会議所や地域金融機関等と連携して、企業支援に取り組んだ。		引き続き、地域産業支援機関との連携強化に取組むとともに、地域金融機関が開催する経営革新計画セミナーなどの連携も検討し、より効果的・効率的な経営革新計画承認に向けた支援を実施する。
創業を支援した件数	件	250	—	42	16.8	産業支援課	遅れている	創業者等育成支援事業		セミナーやインキュベーション施設利用等の支援施策の周知不足等により創業希望者の取りこぎが進まず、目標の年平均50件には未到達となった。また、アンケート集計により創業実績の調査を行っているが、より一層回収率を高め、実態把握に努める必要がある。	創業相談においては資金調達や創業計画作成等に関する支援が多く、質の高い相談内容となってきていると考えられる。引き続き、商工会議所や金融機関等と連携し、制度の周知及び創業希望者の発掘に努める。創業後も含めた支援についても、引き続き商工会議所等と連携を図り、情報収集及びフォローアップに努める。
事業者交流イベントの参加団体数(平成27年度からの累計)	件	250	27	103	34.1	産業支援課	計画通り	ものづくり産業等活性化事業	具体的な取組内容 ・市内工業者の取引機会の拡大や新たなビジネスチャンスの創出を目的に、ビジネス交流会を実施。 ・H27年度46団体、H28年度57団体 工夫した点 ・交流会の中で、地域での企業支援事例の発表を行うなど、企業の新たな取り組みに対する支援体制の周知も実施した。		参加者にとってより魅力的なビジネス交流会となるよう、内容の充実にも努めるとともに、より効果的な周知方法等についても検討を行う。
市内駅前商店街の歩行者通行量	人	21,600	19,536	22,463	141.8	産業支援課	計画通り	商店街活性化推進事業	具体的な取組内容 ・街路灯LED化や防犯カメラの設置、花いっぱい運動やコミュニティカフェの出店など、商店街の環境整備等について、国・県の補助金を積極的に活用するとともに、商店街の販促促進や治安維持施設管理を中心に事業費補助を行った。 ・H28年度は25団体中、21団体へ補助。 工夫した点 ・施策の情報収集と商店街への情報提供を徹底した。		各商店街に対し、引き続き補助金等による支援を行いつつ、補助金等に頼らない事業運営が可能になるように組織や個店の強化を見据えた支援を行う。また、次世代の商店街組織を担う若手人材の育成を支援する。
展示会出展件数、新たな企業連携に向けた商談中の件数(平成27年度)※	件	10	—	12	120.0	産業支援課	計画通り	ものづくり産業等活性化事業	具体的な取組内容 ・平成27年度に「越谷ものづくり企業ガイドブック」を作成。企業や大学等に配布するとともに、ビジネス交流会でも活用するなど、優れた市内企業の情報発信を行った。 ・成果把握のためのアンケート調査を実施。取引につながった4件、商談中4件、企業間連携につながった3件、採用につながった1件の結果となった(平成28年12月31日現在)。 工夫した点 ガイドブック作成にあたっては、市職員も取材に同行することで、企業情報の収集とネットワーク構築を図った。		成果指標については、ガイドブックがきっかけの間合せか不明とする企業が多く、細かな実態把握は難しいと思われる。引き続き、新たなマッチング創出に向けて、企業情報の収集と発信を行っていく。ガイドブックがきっかけに関わらず、マッチングや商談等に対する支援体制を強化していく。
企業立地件数(平成27年度)※	件	3	—	1	33.3	産業支援課	計画通り	ものづくり産業等活性化事業	具体的な取組内容 ・企業訪問、企業アンケート等による企業ニーズの把握 ・立地計画への関係機関調整に関する支援 ・関係機関との調整 工夫した点 ・企業との意見交換により、企業立地に関する最新の動向を把握することに努めた。 ・立地相談に対して、担当課がワンストップ窓口となり、関係部署との調整や関係機関への情報提供などを行った。		・新たな産業用地の創出に向けて、関係機関と協議しながら、地元調整や地権者の合意形成を進める。 ・立地希望企業やゼネコン、ディベロッパーへのヒアリングを引き続き行い、企業ニーズの正確な把握に努める。 ・企業立地に関する支援制度の創設について検討する。 ・産業系土地利用や企業立地に関する専任組織の設立について検討する。

※地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)申請時に設定したKPIのため単年度の指標としています。

《施策②》持続的に農業が行われる環境をつくる

KPIの名称	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	実績		所管課	現在の進捗状況	関連する具体的事業	事業を進める上で、工夫している点	遅れている理由(問題点や課題)	今後の見通し
				平成28年度	進捗率(%)						
農産物直売所における地場農産物の売上高(平成17年度からの累計)	万円	210,000	118,967	170,675	56.8	農業振興課	計画通り	地産地消推進事業	具体的な取組内容 地場農産物の販売促進、学校給食での食材の活用、イベントでのPR等により地産地消を推進している。		今後も引き続き、地場農産物の販売促進、学校給食での食材の活用、イベントでのPR等により、地産地消を推進していく。
市内観光農園の来園者数(平成23年度からの累計)	人	542,000	147,794	307,886	40.6	農業振興課	計画通り	高収益農業推進事業	具体的な取組内容 観光農園マップの作成、いちご関連イベントの開催・イベントへの参加により観光農園のPRを行った。		生産者・観光協会等の関係機関と更なる連携を図る。また、引き続きイベント開催・参加による観光農園のPRに努める。技術提供により品質を向上させ、顧客の定着を図る。
新規就農希望者(研修者)	人	4	-	2	50.0	農業振興課	計画通り	新規就農・農業後継者育成支援事業	具体的な取組内容 新規就農希望者を対象に2年間の研修を実施し、就農に必要な知識・技術を習得させる。 工夫した点 新規就農希望者が研修終了後にスムーズに就農できるよう、栽培技術の習得に加え、経営に関する講習を行っている。		今後も引き続き、新規就農希望者に対し、就農に向けた支援を実施していく。

《施策③》雇用対策の充実を図る

KPIの名称	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	実績		所管課	現在の進捗状況	関連する具体的事業	事業を進める上で、工夫している点	遅れている理由(問題点や課題)	今後の見通し
				平成28年度	進捗率(%)						
シルバー人材センター就業者数(平成23年度からの累計)	人	1,158,000	492,318	755,662	39.6	産業支援課	計画通り	高齢者就業支援事業	具体的な取組内容 新規就業機会の確保 工夫した点 事業所や個人家庭へ積極的に訪問活動等を実施。		今後も「会員の拡大」と「就業機会の確保」を重要課題として事業運営の拡大を支援していく。
セミナー等受講者数(平成23年度からの累計)	人	9,580	4,423	6,140	33.3	産業支援課	遅れている	職業能力開発支援事業		経済情勢や景気動向の好転に伴う、有効求人倍率の上昇により相対的に常時求職希望者は減少傾向にあり、雇用保険受給者(失業手当)の減少も関係して就職支援セミナー受講者も減少しているものとする。(市にとってはプラスになる)	経済情勢や景気動向に直面する問題でもあり、今後もしばらくは平成28年度実績同等の数値で推移するものとする。単純な数値の積み上げでは判断できない。引き続き、各種セミナーを開催し、最新の就職支援スキルが習得できるよう、適宜、見直しや新たな視点から構築したい。
若年者等就業支援事業における年間延べ相談件数	件	750	718	420	0.0	産業支援課	遅れている	若年者等就業支援事業		同一人物による再相談が大きく減少したことによる延べ相談回数減少と考える。新規相談者は91名(前年度73名)と増加しており、実績は毎年上がっている。	経済情勢や景気動向に直面する問題でもあり、今後もしばらくは平成28年度実績同等の数値で推移するものとする。引き続き、新規相談者確保のための周知に努めるほか、現場キャリアカウンセラー自らが行う「相談プラス就職支援セミナー」なども視野に入れた展開を検討し、実績向上に努めたい。

●今後検討していく施策の検討状況

施策	所管課	現在の検討状況	事業展開に至った経緯及び今後の見通し	検討体制および検討状況	事業化の向けての今後の見通し及び問題点等
道の駅の整備	道路建設課	事業展開済み	<p>当時の検討過程等 平成28年度に、道の駅を設置するための基礎調査を実施するため「越谷市道の駅基礎調査業務委託」の発注を行い、候補地の決定、施設のコンセプト等の検討を進め、(仮称)越谷市道の駅基本構想(案)の作成を行った。</p> <p>今後の進め方や課題解決への取り組み 道の駅整備の実現に向け、今後、基本計画や用地取得、整備に向けて準備を進める。 国・県における補助金等の活用や整備及び管理運営を含めて、積極的な民間活力の導入に取り組む必要がある。</p>		
新たな流通・工業系土地利用	産業支援課	事業化に向けて検討中		<p>関係機関・部局 ・埼玉県都市整備部田園都市づくり課、都市計画課、産業労働部企業立地課 ・市都市計画課、開発指導課、農業振興課、農業委員会</p> <p>検討状況 ・既存工業団地の拡張と主要幹線道路沿線における新たな産業団地の整備について検討中。 ・既存工業団地の拡張について、地権者の意向確認や企業への立地意向アンケートを行った。 ・新たな産業団地整備について、関係法令に関する条件整理を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既存工業団地について、地権者の合意形成を図るとともに、立地希望のある企業との意見交換を行い、両者のマッチングを図る。 ・新たな産業団地候補地について、地元調整や地権者の意向把握を行う。 ・企業立地支援制度の創設について検討する。 ・産業系土地利用と企業立地に関する専担組織の設立について検討し、効率的・効果的な事業推進を図る。
事業者の競争力強化・企業立地に対する支援及び相談体制の強化	産業支援課	事業化に向けて検討中		<p>関係機関・部局 こしがや企業応援プラットフォーム</p> <p>検討状況 こしがや企業応援プラットフォームと連携した企業訪問等により、市内企業の支援ニーズの把握に努めている。 また、プラットフォームを構成する産業支援機関と、支援体制強化に向けた情報交換等を行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・少しずつ連携は取れ始めているが、具体的な事業内容等についてはこれからの状況である。 ・参加機関によって、取り組みへの温度差があることや、具体的事業実施時の予算措置なども課題である。

(3) 基本目標2 越谷の魅力を全国に発信し、人を呼び込む

基本目標2については、基本目標に対する1つの数値目標と具体的施策に対する5つのKPIを掲げています。また、具体的施策については、2つの施策に分類し、施策①に3つのKPI、施策②に2つのKPIを掲げています。

◆具体的施策について

施策①の進捗状況については、3つのKPIのうち計画通りに進捗しているものが2つ、平成27年度で事業が終了しているものが1つとなっています。

計画通り進捗しているKPIとして、「観光客入込数」については、観光振興に関する包括連携協定を締結した(株)JT B関東のノウハウを活用し、地域資源のブラッシュアップに取り組んだことにより、入込数の増加が図られたものと考えています。今後についても、地域の魅力の掘り起こしや新たな観光コンテンツづくりに取り組むなどの事業展開を行っていきます。

施策②の進捗状況については、2つのKPIともに計画通りに進捗しています。

そのうち「越谷市公式LINEアカウントの友だち人数」については、写真や絵文字を多く使用し、見やすい内容での情報発信を行ったことにより人数の増加につながったものと考えています。今後についても、引き続き事業を継続していくとともに、魅力ある情報の発信に努めていきます。

また、「越谷市観光協会ホームページアクセス数」については、魅力ある観光コンテンツを適切なタイミングで提供したことにより、アクセス数の増加につながったものと考えています。今後については、よりアクセスしやすい環境を整えるため、ホームページのリニューアルを予定しています。

◆数値目標について

数値目標「越谷市に対して愛着を感じている市民の割合」の進捗状況については、具体的施策の事業が着実に進捗していることから9割を超える進捗率となっております。今後についても、特色ある観光事業をはじめ、こしがやブランド認定品等の特産品や越谷特別市民「ガーヤちゃん」の活用、フィルムコミッションの推進、また地方創生の視点を踏まえて整備した、観光物産拠点施設「ガーヤちゃんの蔵屋敷」など様々なコンテンツで“こしがや”の魅力を発信することで目標の達成が可能であると考えています。

◆今後検討すべき施策について

今後の検討すべき施策の検討状況については、3つの施策のうち2つが事業展開しております。「新たな都市型観光の推進」については、株式会社JTB関東との包括連携協定を踏まえ、観光資源調査を実施するとともに、越谷レイクタウンの水辺を活用したエコイベント等を実施しました。また、「広域連携における観光施策」については、徳島市や東北被災地3市との観光・物産交流を実施しました。今後についても、観光物産拠点施設「ガーヤちゃんの蔵屋敷」を集客・送客・交流の軸とし、特色ある観光施策を推進していきます。なお、検討中である「観光基盤の整備」については、関係機関との連携を図りながら、引き続き検討を進めていきます。

◆まとめ

基本目標2については、5つのKPIのうち、4つが計画通りに進捗、1つが平成27年度事業終了という状況にあります。数値目標については9割を超える達成率となっていることから、現在の取組を着実に進めながら、より効果的な事業展開をしていくことで、「越谷の魅力を全国に発信し、人を呼び込む」という目標を達成できるものと考えています。

基本目標2: 越谷の魅力を全国に発信し、人を呼び込む

考え方: 新たな観光資源の発掘・活用を進め、観光産業の振興を図るとともに、まちの魅力を効果的に発信することで交流人口の増加を目指す

●基本目標における数値目標

数値目標	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	実績		所管課	現在の進捗状況	今後の見通し
				平成28年度	進捗率(%)			
越谷市に対して愛着を感じている市民の割合(「とても愛着がある」「愛着がある」と思う市民の割合)	%	50.0	—	47.2	94.4	観光課	民間調査会社の分析によると埼玉県内の地域への愛着度は最下位となるなど、首都近郊にあるまちでは、地域への愛着や誇りが足りないという課題がある。 平成27年度の市政世論調査から市への愛着度(シビックプライド)について、定量的に数値等を把握・分析している。 現在まで、順調に進捗している。	市への愛着度(シビックプライド)の醸成のため、こしがや愛されグルメ発信事業を実施するとともに、こしがやブランド認定品などの特産品や越谷特別市民「ガーヤちゃん」の活用並びにフィルムコミッションの推進に取り組む。 また、地方創生の視点を踏まえて整備した、観光物産拠点施設「ガーヤちゃんの蔵屋敷」では、日光街道の宿場町「越ヶ谷宿」の玄関口である越谷駅東口ににぎわいを創出するとともに、「こしがや」の魅力を内外に発信する。

●具体的施策の重要業績評価指標(KPI)

《施策①》にぎわいと活力を創出する観光の振興を図る

KPIの名称	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	実績		所管課	現在の進捗状況	関連する具体的事業	事業を進める上で、工夫している点	遅れている理由(問題点や課題)	今後の見通し
				平成28年度	進捗率(%)						
観光客入込数	人	58,000,000	52,935,926	57,733,325	94.7	観光課	計画通り	観光推進事業	具体的な取組内容 市内の名所・旧跡をはじめ、四季折々のイベントや水と緑の豊かな水辺空間等の地域資源のブラッシュアップに取り組んだ。 工夫した点 観光振興に関する包括連携協定を締結した(株)JTB関東のノウハウ等の活用に努めた。		既存の地域資源のブラッシュアップに取り組むとともに、地域の魅力の掘り起こしや、新たな観光コンテンツづくりに取り組むなど、新たな“都市型観光”を推進する。
市内に立地する駅(東武スカイツリーライン・JR武蔵野線市内全駅)の1日平均乗降客数の合計	人	587,000	521,650 (平成25年度)	540,718	29.2	政策課	計画通り	観光推進事業	具体的な取組内容 平成27年度から、埼玉県東部都市連絡調整会議観光専門部会にて、東京オリンピック・パラリンピックの開催に併せたインバウンド観光施策として、広域観光ガイドマップの作成検討に先立つ、外国人観光客を中心とした周遊ルートの検討を実施した。 工夫した点 庁内で横断的に、外国籍住民への潜在ニーズを調査すべく、アンケートやモニターツアーを開催した。		本市最上位計画である「第4次越谷市総合振興計画後期基本計画」及び「越谷市総合戦略」に基づき、事業の展開をしていく。
新たな都市型観光を確立するために実施するモニターツアー参加者※	人	20	—	—	—	観光課	事業終了	観光資源魅力創造事業			

※地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)申請時に設定したKPIのため単年度の指標としています。

《施策②》“こしがや”の情報を積極的に発信する

KPIの名称	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	実績		所管課	現在の進捗状況	関連する具体的事業	事業を進める上で、工夫している点	遅れている理由(問題点や課題)	今後の見通し
				平成28年度	進捗率(%)						
越谷市観光協会ホームページアクセス数	件	180,000	144,000	162,061	50.2	観光課	計画通り	魅力発信事業	具体的な取組内容 魅力ある観光コンテンツを適切なタイミングで提供した。 工夫した点 観光ガイドブックやチラシにホームページのURLを掲載し、丁寧な案内を心がけた。		魅力ある観光コンテンツについて必要な情報を適切なタイミングで提供するホームページへの環境を整える。
越谷市公式LINE(ライン)アカウントの友だち人数	人	7,000	—	4,063	58.0	広報広聴課	計画通り	ホームページ・テレビ広報事業	具体的な取組内容 毎月イベント案内を配信した。 工夫した点 写真や絵文字を多く使用し、見やすい内容にした。		写真やスタンプを効果的に使用し、読まれる情報を配信していく予定である。

●今後検討していく施策の検討状況

施策	所管課	現在の検討状況	事業展開に至った経緯及び今後の見通し	検討体制および検討状況	事業化の向けの今後の見通し及び問題点等
新たな都市型観光の推進	観光課	事業展開済み	<p>当時の検討過程等 (株)JT日開東との観光振興に関する包括連携協定を踏まえ、農業体験等モニターツアーや観光資源調査を実施するとともに、レイクタウンの水辺を活用したイチゴのランニングイベントやヒートアップ等でのイベントを実施した。</p> <p>今後の進め方や課題解決への取組み 越谷レイクタウンの交流人口を活かすとともに、5本の1級河川等の水辺空間並びに食や農を活かした都市型観光を推進する。</p>		
観光基盤の整備	観光課	事業化に向けて検討中		<p>関係機関・部署 民間事業者</p> <p>検討状況 宿泊施設の誘致等</p>	民間事業者と連携した宿泊施設や二次交通をはじめとする公共交通などの観光基盤の整備を促進する。
広域連携における観光施策	政策課 観光課	事業展開済み	<p>当時の検討過程等 徳島市や東北被災地3市との観光・物産交流を実施した。また、日光街道埼玉六宿連携会議において、PR事業を検討した。</p> <p>さらに、埼玉県東南部都市連絡調整会議において、5市1町にある観光資源の現状や課題を把握し、面的な視点での観光振興や観光ネットワークの形成、自然環境を視野に入れた観光振興について調査研究し、今後5年以内に実現することが効果的と思われる具体的なメニュー出しを行い、報告書として取りまとめた。</p> <p>今後の進め方や課題解決への取組み 徳島市や東北被災地3市並びに日光街道埼玉六宿等と広域連携事業を展開する。また、観光物産拠点施設「ガーヤちゃんの蔵屋敷」において、集客・送客・交流を軸とした広域観光を推進する。</p> <p>また、平成29年度は、「広域観光ガイドマップ作成検討会議」を開催し、東南部圏域の市民の皆さまだけでなく、多くの外国人観光客にも手にとってもらえるようなガイドマップの作成を進めていく。</p>		

(4) 基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標3については、基本目標に対する2つの数値目標と具体的施策に対する9つのKPIを掲げています。また、具体的施策については、4つの施策に分類し、施策①に2つのKPI、施策②に3つのKPI、施策③に3つのKPI、施策④に1つのKPIを掲げています。

◆具体的施策について

施策①の進捗状況については、2つのKPIともに計画通りに進捗しています。

「乳幼児等健診受診率」については、10か月児健診の受診率が低いことから、さらなる周知を行っていくこと、また、未受診者を把握し、訪問等を行うなど、引き続き受診率の向上に努めてまいります。

また「子育てサロン利用者延べ人数」については、広報やホームページ等で周知を図ったことにより、利用者数の増加が図られたものと考えています。今後についても、引き続き周知に努めるとともに、利用者目線での事業展開を行ってまいります。

施策②の進捗状況については、3つのKPIのうち計画通りに進捗しているものが1つ、計画より遅れているものが1つ、平成27年度で事業が終了したものが1つとなっています。

計画通り進捗している「学童保育室施設数」については、学校敷地内での単独施設の整備だけではなく、学校施設の有効活用や仮設教室の増設に併せて保育施設整備に取り組んだことにより、施設数の増加が図られました。今後についても、将来的な児童推移を勘案し、整備事業を行ってまいります。

計画より遅れている「待機児童数」については、民間による保育所等の整備を支援するなど定員拡大を図ってまいりましたが、女性の就業率の向上などによる保育ニーズの高まりから、待機児童の解消には至っておりません。引き続き、保育ニーズの高い地域への整備を支援するとともに、幼稚園の認定こども園化や既存事業者の分園等整備を促進し、利用定員の増加を図ることで、目標が達成できるものと考えています。

施策③の進捗状況については、3つのKPIのうち計画通りに進捗しているものが2つ、計画より遅れているものが1つとなっています。そのうち「エアコン設置整備率」については、整備方法をPFI方式とし、業者と契約を締結し、整備を行い、平成29年10月1日の引渡しに向け、工事を進めております。その他のKPIについても、課題に即した支援等を進めてまいります。

施策④の進捗状況については、KPIが1つであり、計画通りに進捗しています。

計画通り進捗している「仕事と家庭生活の両立について何らかの配慮を行っている事業所の割合」は、毎年の実績値の算出が困難なKPIであるため、進捗率には表れてはいないものの、要望に応じて講座の開催回数を増やしたり、チラシによる啓発活動により過去の調査結果と比較

すると割合が増加傾向であることから、継続的に事業に取り組むことで、目標が達成できるものと考えています。

◆数値目標について

数値目標の進捗状況については、「20歳代、30歳代の女性のうち、住み続けたいと思う市民の割合」は、昨年度よりも数値は上昇しましたが、平成27年度からの計画である総合戦略に掲げる施策を推進し、若い世代への結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を行うことで、目標の達成が可能であると考えています。また、「合計特殊出生率」についても、出生率に直接影響するような施策は行っておりませんが、様々な子育て支援策を行うことにより、目標の達成は可能であると考えています。

◆今後検討すべき施策について

今後の検討すべき施策の検討状況については、1つの事業が事業展開しております。事業展開している「男女の出逢いの場の創出」については、埼玉県東南部都市連絡調整会議にて、「婚活」に焦点を置いた「婚活まんまるバスツアー」を実施いたしました。なお、その他検討中の事業についても、関係機関との連携や情報収集を図りながら、引き続き検討を進めていきます。

◆まとめ

基本目標3については、9つのKPIのうち、6つが計画通りに進捗、2つが計画より遅れており、1つが平成27年度で事業終了となっております。数値目標については、現在の取組を着実に進めながら、より効果的な事業展開をしていくことで、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」という目標を達成できるものと考えています。

基本目標3:若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

考え方:若い世代の結婚・出産の希望をかなえるために、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を行い、ずっと住み続けたいと思うまちを目指す

●基本目標における数値目標

数値目標	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	実績		所管課	現在の進捗状況	今後の見通し
				平成28年度	進捗率(%)			
20歳代、30歳代の女性のうち、住み続けたいと思う市民の割合(市民意識調査「ずっと住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と思う市民の割合)	%	65.0	60.0	60.7	14.0	政策課	平成28年度の市政世論調査結果報告においては平成26年の基準値を上回ったものの、子育て施策や学校教育をはじめ、越谷市に愛着を持ってもらえるよう総合戦略に掲げる施策を推進することが求められている。	若い世代への結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を行い、「ずっと住み続けたい」と思ってもらえるよう、総合戦略に掲げる施策の推進し、目標達成を目指す。
合計特殊出生率	—	1.50	1.33	1.38	29.4	子育て支援課	過去5年間は1.22から1.38の間で増減している。 なお、平成28年度実績値については平成29年10月以降の公表のため、直近の平成27年度実績値を計上しております。	合計特殊出生率に直接影響するような施策はないのが現状であるが、様々な子育て支援施策を実施することにより目標値の達成を目指す。

●具体的施策の重要業績評価指標(KPI)

【施策①】地域で子育てを支援する

KPIの名称	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	実績		所管課	現在の進捗状況	関連する具体的事業	事業を進める上で、工夫している点	遅れている理由(問題点や課題)	今後の見通し
				平成28年度	進捗率(%)						
乳幼児等健診受診率	%	95.0	94.3	95.4	157.1	市民健康課	計画通り	母子健康づくり事業	具体的な取組内容 未受診訪問や広報こしがやを活用した周知を実施した。 工夫した点 乳児健康診査については、体調不良等で期間内に受けられなかった場合に限り、翌月までは受診可能としている。		10か月児健康診査の受診率が伸び悩むので、4か月児健康診査の未受診者へ未受診訪問等を行い、周知に努める。
子育てサロン利用者延べ人数(平成23年度からの累計)	人	578,600	255,241	377,068	157.1	子育て支援課	計画通り	子育てサロン事業	具体的な取組内容 広報、ホームページ、cityメールを用いて周知を図っている。		今後も引き続き周知に努めるとともに、より利用しやすいサロンとなるよう、利用者目線での運営に努めていく。

【施策②】子どもを育てやすい環境を整える

KPIの名称	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	実績		所管課	現在の進捗状況	関連する具体的事業	事業を進める上で、工夫している点	遅れている理由(問題点や課題)	今後の見通し
				平成28年度	進捗率(%)						
待機児童数(各年度4月1日)	人	0	29	38	0.0	子ども育成課	遅れている	子育て充実事業		民間による保育所等の整備を支援し、定員拡大に取り組んでいるが、女性の就業率の向上などによる保育ニーズの高まりから、入所申請者が急増しているため、整備が追いついていない。	保育ニーズの高い地域への保育所等の整備を実施するとともに、既存施設の有効活用を目指し、利用定員の増加(既存事業者の分園等整備や幼稚園の認定こども園化、小規模保育事業所の創設等)を図る。
保育年間カリキュラムにおける年間遊具使用保育時間※	時間	1.05	1.00	—	—	子ども育成課	事業終了	保育環境改善事業			
学童保育室施設数	施設	48	40	45	62.5	青少年課	計画通り	学童保育室整備事業	具体的な取組内容 利用者数が増加傾向にある大相模小学校に対して、学童保育室を追加整備した。 工夫した点 小学校の仮設棟建設の際に、合わせて学童保育室を仮設棟内に建設することによってコストを抑えた。 ※単独での建設コスト 35,000千円 仮設棟1室としてのコスト 15,000千円 削減できたコスト 20,000千円		引き続き、小学校敷地内スペースや転用可能教室など教育委員会と連携を図り、施設数を増やしていく。

【施策③】生きる力を育む学校教育を進める

KPIの名称	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	実績		所管課	現在の進捗状況	関連する具体的事業	事業を進める上で、工夫している点	遅れている理由(問題点や課題)	今後の見通し
				平成28年度	進捗率(%)						
将来の夢や目標を持っている児童の割合(小学6年生)	%	95.0	89.3	89.0	0.0	指導課	遅れている	小中一貫教育の推進		教員の指導法の改善や交流活動の活性化などで一定の成果は見られるものの、児童が直接的に実感するまでにいたっていないと思われる。	指導主事による授業研究会や研修会への積極的な関与により、更なる授業改善を図るとともに、市教委より示した「単元配列表」や「授業改善のための自己評価シート」等の積極的な活用を促していく。
将来の夢や目標を持っている生徒の割合(中学3年生)	%	80.0	72.0	75.1	38.7	指導課	計画通り	小中一貫教育の推進	具体的な取組内容 小中一貫教育の研究委嘱を市内9校の小中学校に行うとともに、全45小中学校に研究指定を実施した。 工夫した点 担当指導主事が学校訪問指導を計画的に実施することにより、中学校の授業改善が進み、小中間の交流活動も活性化し、中学校生徒の自己肯定感が高まった。		各中学校ブロックの合同研修会や授業研究会への積極的な参加により、「学力向上」「中一ギャップの解消」「自己肯定感の高揚」の指標達成に向けて、各ブロックの課題に即した支援を進めていく。
エアコン設置整備率	%	100.0	—	0	0.0	学校管理課	計画通り	小中学校施設空調設備設置事業	具体的な取組内容 エアコン整備について、整備方法をPFI方式とし、「PFIにしがや学習環境整備株式会社」と事業契約を締結し整備を行っている。本事業にPFIの手法を導入したことにより、整備期間の短縮や全小中学校への一括整備が図れる。		平成29年10月1日の引渡しに向け、工事を進めていく。

【施策④】仕事と生活の調和を推進する

KPIの名称	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	実績		所管課	現在の進捗状況	関連する具体的事業	事業を進める上で、工夫している点	遅れている理由(問題点や課題)	今後の見通し
				平成28年度	進捗率(%)						
仕事と家庭生活の両立について何らかの配慮を行っている事業所の割合(越谷市労働実態調査)	%	70.0	64.7 (平成27年度)	64.7	0.0	人権・男女共同参画推進課	計画通り	男女共同参画支援センター管理運営事業	具体的な取組内容 働きながら育児や介護等の両立支援のための各種講座等を実施した。また、センター管理事業以外においても、事業者向けの啓発チラシを作成し、越谷法人会を通じて市内事業者(約2,300社)に配布した。 工夫した点 子育てに関する講座の「職場復帰講座」は、昨年までは年1回の講座を開催していたが、参加者の要望が多いことから2回開催とした。		越谷市労働実態調査は、3年ごとの調査のため、基準値が平成27年度の調査結果となっている。平成24年度の調査結果では、52.2%となっていることから、着実に増加している。次回、平成30年の調査に向けて、引き続き事業内容を工夫しながら進めていく。

●今後検討していく施策の検討状況

施策	所管課	現在の検討状況	事業展開に至った経緯及び今後の見通し	検討体制および検討状況	事業化の向けての今後の見通し及び問題点等
妊娠から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援	子育て支援課	事業化に向けて検討中		関係機関・部署 市民健康課、子ども育成課 検討状況 窓口の設置場所等について検討している。	現状の人員では対応が困難なため、定数の増や非常勤職員の配置等について検討する必要がある。
男女の出逢いの場の創出	政策課	事業展開済み	当時の検討過程等 埼玉県東南部都市連絡調整会議にて、例年実施している「まんまるバスツアー」の他に、「婚活」に焦点を置いた、「婚活まんまるバスツアー」の開催に向け、平成28年度から各市町職員で構成される「婚活まんまるバスツアー検討会議」を重ね、視察先の調整等も行い、平成29年3月4日に初めて開催した。 今後の進め方や課題解決への取組み 平成28年度に開催した結果、十分なニーズがあることは確認できたので、今後はより多くの方に参加していただけるような開催方法等を費用等を考慮しながら、提案していく。 また、参加者にとって魅力のある内容かつ、東南部圏域に定住してもらうことを想定とした、更なる内容改善を検討会議にて調整していく。		
子育て世帯などを対象とした定住化促進に向けた施策の検討	建築住宅課	事業化に向けて検討中		関係機関・部署 埼玉県住宅課 市長公室政策課 検討状況 埼玉県が実施する「多子世帯向け中古住宅取得・リフォーム補助制度」については、広報こしがやお知らせ版での記事掲載などを通じて既に市民向けの周知を行っており、今後も積極的に当該制度の利用促進を図るように努める。併せて、次世代を担う子育て世帯などの定住化が促進されるような本市独自の施策について、引き続き担当課内で調査検討を進めていく。	本市独自の施策を調査検討するうえで、「どのような条件を設定して定住化促進の対象世帯を絞り込んでいくか」が基本的検討課題となる。したがって、県や類似自治体などによる先行事例の情報を数多く収集したのち、人口動態、費用対効果及び既存施策(県・市施策)との競合関係などを精査し、施策としての方向性を整理していく。更に、具体的に事業を展開するためには、全庁的な検討作業の過程や、予算措置を含めた事務執行体制の整備が必要不可欠である。

(5) 基本目標4 安全、安心、快適に住める地域をつくる

基本目標4については、基本目標に対する1つの数値目標と具体的施策に対する11のKPIを掲げています。また、具体的施策については、4つの施策に分類し、施策①に3つのKPI、施策②に3つのKPI、施策③に2つのKPI、施策④に3つのKPIを掲げています。

◆具体的施策について

施策①の進捗状況については、3つのKPIとも計画通りに進捗しています。そのうち「主要な幹線道路の舗装改良率」については、良好な舗装状態を長期にわたり維持できるよう、路線における舗装組成を確認し、質的向上を図った工事の実施より、改良率の向上につながったものと考えています。今後についても、国庫補助金を活用し、着実に事業を進捗していきます。

施策②の進捗状況については、3つのKPIともに計画通り進捗しています。そのうち「オレンジカフェ設置数」については、進捗率に表れてはいないものの、平成28年度に設置希望についての調査を実施し、6団体から実施意向があったことから、今後の補助金交付等を実施していくことで、着実に進捗が図れるものと考えています。また、「夜間急患診療所の認知度」についても、周知・啓発方法を工夫することにより、着実に進捗が図れるものと考えています。

施策③の進捗状況については、2つのKPIとも計画通りに進捗しています。そのうち「備蓄資器材の整備率の平均」では、被害がもっとも大きいと想定される地震が発生した場合の想定避難者数や過去の災害を踏まえ、計画的に食料や生活必需品等備蓄資器材の整備を行ったことにより、割合が増加したものと考えています。今後も計画的に備蓄資器材の整備を図っていきます。また、「災害情報管理システムと連携したホームページへのアクセス件数」についても、迅速な情報伝達が行えるよう複数の情報伝達手段に一括で送信できるよう構築したシステムを利用し、利便性の高い情報提供に努めていきます。

施策④の進捗状況については、3つのKPIとも計画通りに進捗しています。そのうち「公共下水道事業（雨水）整備率」については、雨水幹線整備を主体とした中長期的な対策だけでなく、短期的な対策と併せて、浸水被害の軽減に努めています。

◆数値目標について

数値目標「今後も住み続けたいと思う市民の割合」の進捗状況については、具体的施策の事業が着実に進捗しており、割合も上昇傾向にあります。引き続き具体的な事業に取り組むとともに、若い世代をターゲットとした施策を推進することで、目標の達成が可能であると考えています。

◆今後検討すべき施策について

今後の検討すべき施策の検討状況については、7つの施策（うち1つは再掲載）のうち3つ（うち1つは再掲載）が事業展開しております。事業展開している施策のうち「介護人材の確保」については、埼玉県立大学と共同して相談窓口を開設しました。今後については、越谷市介護保険サービス事業者連絡協議会と協力し、職場環境の改善に取り組んでいきます。また、他の施策についても関係機関等と調整を図りながら、事業を進めていきます。なお、検討中の施策については、関係機関と引き続き検討を進めていきます。

◆まとめ

基本目標4については、11のKPIともに計画通りに進捗している状況にあり、数値目標についても着実に進捗していることから、現在の取組を着実に進めながら、より効果的な事業展開をしていくことで、「安全、安心、快適に住める地域をつくる」という目標を達成できるものと考えています。

基本目標4: 安全、安心、快適に住める地域をつくる

考え方: だれもが、安全、安心、快適に住める『安心度No.1のこしがや』をつくるため、①効率的で的確な公共施設等の維持管理、②医療・保健・福祉サービスの充実、③防災力・防犯力の強化、などの実現を目指す

●基本目標における数値目標

数値目標	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	実績		所管課	現在の進捗状況	今後の見通し
				平成28年度	進捗率(%)			
今後も住み続けたいと思う市民の割合(「ずっと住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と思う市民の割合)	%	75.2	72.6	74.3	65.4	政策課	今後も住み続けたいと思う市民の割合は全世代合計で見ると、上昇傾向にあるため、市民全体としては、暮らしにある程度満足しているものと思われる。	基本目標3の数値目標である「20歳代、30歳代の女性のうち、住み続けたいと思う市民の割合」が目標に達していないので、特に若い世代に趣谷に住みたいと思ってもらえるよう、子育て施策や観光振興施策をはじめとする総合戦略に掲げる施策を推進し、目標達成を目指す。

●具体的施策の重要業績評価指標(KPI)

《施策①》公共施設等の適正な管理を図る

KPIの名称	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	実績		所管課	現在の進捗状況	関連する具体的事業	事業を進める上で、工夫している点	遅れている理由(問題点や課題)	今後の見通し
				平成28年度	進捗率(%)						
アクションプランの策定率	%	100.0	—	0	0.0	公共施設マネジメント推進課	計画通り	公共施設等総合管理事業	具体的な取組内容 アクションプランの策定に向けて、公共施設マネジメント計画策定委員会を設置し、各部会を開催した。 また、公共施設のあり方に対する市民の意見等を集約するため、市民懇談会を2回開催した。		関係各課と協議を行いながら、引き続き、アクションプランの策定に向けて検討を進めていく。また、コストや稼働状況、修繕情報等を一元的に管理する公共施設マネジメントシステムを構築し、システムを用いた施設の分析・評価結果をアクションプランに反映させる。
主要な幹線道路の舗装改良率	%	47.6	38.9	44.6	65.5	道路建設課	計画通り	道路舗装事業	具体的な取組内容 良好な舗装状態を長期にわたり維持できるよう、路線における舗装組成を確認し、質的向上を図った工事を実施している。 工夫した点 工法などの検討を行い積算をしている。		引き続き、国庫補助金を活用し、主要幹線道路における計画的な整備を進める。今後、舗装維持管理計画の策定を目指し、効率的に事業を進める。
橋りょうの耐震化率	%	36.3	18.1	18.1	0.0	道路建設課	計画通り	橋りょう耐震化整備事業	具体的な取組内容 地震による落橋・倒壊等の甚大な被害を防止する為耐震補強をおこなう。地震時の迅速な通行輸送機能の確保を図る。 具体的には、平成27年度より新平和橋の耐震化工事を実施中で、平成28年度は工事の2年目であり、平成29年度の完成に向け工事を進めている。 工夫した点 橋梁長寿命化工事とも整合性を図り、効率的な整備を実施していく。		引き続き、越谷市橋梁耐震化基本方針に従い橋梁の耐震化を図る。また、橋梁長寿命化工事と整合性を図り効率的な工事を行う。

《施策②》地域医療体制の充実及び高齢者を地域で支えあう仕組みを整備する

KPIの名称	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	実績		所管課	現在の進捗状況	関連する具体的事業	事業を進める上で、工夫している点	遅れている理由(問題点や課題)	今後の見通し
				平成28年度	進捗率(%)						
夜間急患診療所の認知度(基準値は平成24年度)	%	85.0	小児 64.3% 成人 47.0% (平成24年度)	74.7	87.9	地域医療課	計画通り	夜間急患診療所運営事業	具体的な取組内容 広報紙への掲載や啓発チラシの配布		広報紙への掲載やチラシの配布等は引き続き行った上で、市内自治会への啓発チラシの回収を行う。また、若年層の市民の認知度がそれ以上の年齢層より低く、広報活動の効果が比較的高齢者寄りに現れていると考えられるため、若年層の市民へ効果的に周知できる方法を検討していく。
オレンジカフェ設置数	か所	3	0	0	0.0	地域包括ケア推進課	計画通り	認知症総合支援事業	具体的な取組内容 平成29年6月から、予算の範囲内で各団体にに対し補助金を交付する。 工夫した点 平成28年度に設置希望についての調査を行い、6団体から実施意向の回答があった		団体の募集は随時行い、周知を図っていく。
特別養護老人ホーム整備率	%	1.80	1.23	1.16	0.0	介護保険課	計画通り	特別養護老人ホーム等施設整備事業	具体的な取組内容 特別養護老人ホーム(地域密着型特別養護老人ホーム含む)4施設の整備に対し補助金を交付し、平成29年6月に29床の開設、平成29年度中に約218床の増床となる予定である。 進捗率が平成26年度基準値を下回っている理由は、高齢者人口の伸びに伴い、母数が増えたためであり、施設の増設については、計画通りに進んでいる。		平成30年度からの次期計画の策定においても特別養護老人ホームの整備を検討し、計画的に整備を推進していく。

《施策③》防災力・防犯力を強化する

KPIの名称	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	実績		所管課	現在の進捗状況	関連する具体的事業	事業を進める上で、工夫している点	遅れている理由(問題点や課題)	今後の見通し
				平成28年度	進捗率(%)						
備蓄資器材の整備率の平均	%	97.5	80.0	86.5	37.1	危機管理課	計画通り	災害予防対策事業	具体的な取組内容 平成24・25年度埼玉県地震被害想定調査報告書において、被害が最も大きいとされる茨城県南部地震が発生した場合の想定避難者数約2万人や過去の災害での経験を踏まえ、食料や生活必需品等、計画的に備蓄資器材の整備を行っている。 工夫した点 災害に応じた備蓄計画に基づき、備蓄資器材の整備を行った。		今後も計画的に備蓄資器材の整備を図る。
災害情報管理システムと連携したホームページへのアクセス件数	件	12,000	—	61,789	100	危機管理課	計画通り	災害予防対策事業	具体的な取組内容 災害情報管理システムを通じて、市民向けの注意喚起情報や道路の通行止めの情報など、越谷Cityメール、ツイッター、ホームページへ発信し、情報提供に努めた。 工夫した点 災害時における市民への迅速な情報伝達ができるよう、複数の情報伝達手段に一括で送信できるシステムを構築した。		今後も迅速な情報伝達を行うとともに、定期的に配信内容について見直し、市民にとってより利便性の高い情報提供に努める。

《施策④》雨水災害の対策を進める防災力・防犯力を強化する

KPIの名称	単位	目標値 (平成31年)	基準値 (平成26年)	実績		所管課	現在の進捗状況	関連する具体的事業	事業を進める上で、工夫している点	遅れている理由(問題点や課題)	今後の見通し
				平成28年度	進捗率(%)						
公共下水道事業(雨水)整備率	%	67.3	66.4	66.5	11.1	治水課	計画通り	公共下水道管路整備事業(雨水)	具体的な取組内容 平成25年度より進めていた南越谷二丁目地区の浸水対策に係る雨水幹線の支線の整備が完了した。 また、国及び県が実施する河川改修事業との連携を図りながら、浸水被害の軽減に向けた対策を実施した。 工夫した点 雨水幹線の整備は、多くの時間と費用を要することから、仮設ポンプの増設や常設化など、短期的な対策と併せて進めている。		引き続き、国及び県が実施する河川改修事業との連携を図りながら、雨水幹線やポンプ施設を主体とした中長期的な対策だけでなく、仮設ポンプなどの短期的な対策と併せ、浸水被害の軽減に向けた整備を進める。
ポンプ機器改修率	%	71.8	56.4	59.0	16.9	治水課	計画通り	排水場施設維持管理事業	具体的な取組内容 改修計画に基づき、ポンプ機器1基を改修した。 工夫した点 費用がかかるポンプなどの機器について、改修計画を策定し、事業費の平準化に努めるとともに、点検により判明した軽微な修理や部品の交換などにより、施設の延命化に努めた。		改修計画に基づき、ポンプ機器の改修を進めるとともに、日々の維持管理の徹底を図り、ポンプ施設の適正な管理に努める。
ポンプ場改築・更新率	%	18.2	0.0	0.0	0.0	治水課	計画通り	公共下水道ポンプ場改修事業	具体的な取組内容 越谷第一ポンプ場の二期工事を実施中(平成28年度～平成29年度)。 また、御料堀ポンプ場長寿命化計画の策定及び申請を行い、平成29年度から事業を開始する。 工夫した点 下水道長寿命化支援制度の改定前に、新たなポンプ場の長寿命化計画申請を行い、事業の継続性を持たせることができた。		事業を開始したポンプ場については、積極的な国庫補助金の活用を図るとともに、進捗管理の徹底に努める。 また、その他のポンプ場については、新たに国が定めた支援制度に基づき、下水道施設の維持・修繕及び改築に関する「下水道ストックマネジメント計画」を策定し、計画的かつ効率的に事業を進める。

●今後検討していく施策の検討状況

施策	所管課	現在の検討状況	事業展開に至った経緯及び今後の見通し	検討体制および検討状況	事業化の向けての今後の見通し及び問題点等
公共施設のマネジメント	公共施設マネジメント推進課	事業化に向けて検討中		関係機関・部署 営繕課、施設・インフラ所管課等 検討状況 施設の用途別に今後の公共施設の方向性を定めたアクションプランの策定に向けて検討を行っている。 また、公共施設のライフサイクルコストを削減するため、コストや稼働状況、修繕情報等を一元的に管理する公共施設マネジメントシステムを構築する。	関係各課と協議を行いながら、引き続き、アクションプランの策定に向けて検討を進めていく。 また、公共施設マネジメントシステムを用いて施設の評価・分析を行い、結果をアクションプランに反映させるとともに、これらを活用し、長寿命化、統合を含む施設の適正な管理を行う。
新保健センターの整備	地域医療課	事業展開済み	当時の検討過程等 市民の健康づくりや保健・医療・福祉の連携の強化など地域保健の更なる拡充を図るため、新たな保健センターを整備することが検討された。 今後の進め方や課題解決への取組み 平成28年度に基本設計を作成し、平成29年度に実施設計等を行い、施設整備に向けて事業を進めていく。		

●今後検討していく施策の検討状況

施策	所管課	現在の検討状況	事業展開に至った経緯及び今後の見通し	検討体制および検討状況	事業化の向けての今後の見通し及び問題点等
介護人材の確保	介護保険課	事業展開済み	<p>当該の検討過程等 市長マニフェストの実現に向け、H28.1月から介護職員向けの相談窓口を開設し、平成28年度には、離職防止に向けて介護職員に対する意識調査を実施。 今後の進め方や課題解決への取組み 職場環境の改善を、越谷市介護保険サービス事業者連絡協議会等と協力して取り組んでいく。</p>		
空き家の適正管理及び活用	建築住宅課	事業化に向けて検討中		<p>関係機関・部署 埼玉県建築安全課 くらし安心課、道路総務課、環境政策課、リサイクルプラザ、消防本部予防課、都市計画課、生活衛生課</p> <p>検討状況 空き家等の適正管理は、建築、環境、防災、都市計画、消防など、様々な分野から取り組む必要がある。そこで現在、市町村の担当課、関係機関・団体及び県の関係課等が必要な情報や課題を共有し、その解決に向けた対策を共同で検討するべく、埼玉県を中心に「埼玉県空き家対策連絡会議」を組織し、具体的な取組み方法等について協議を進めている。 この連絡会議には専門部会として、所有者不明等の対応部会が設置されており、本市も部会に参加している。部会では、所有者不明等の事例についての対応方法に関して、他行政と検討をしていく。</p>	本市では、現在、NPO法人を中心に組織された「越谷市住まいまちづくり協議会」による「空き家・空き室・空き地に関する何でも相談会」の開催を通じて、市民の個別相談に対する提案や物件情報の提供を行っており、引き続き当該協議会の一構成員として利活用の一助となるよう支援を行う。一方では、「埼玉県空き家対策連絡会議」における検討状況や県内自治体の動向を踏まえつつ、自治会の協力と外部委託による空き家等実態調査を実施することで実態を把握し、空き家等の適正な管理ができるような体制を強化し、利活用に関する施策のあり方についても、更に検討を進めていく。
地域公共交通網の充実	都市計画課	事業化に向けて検討中		<p>関係機関・部署 ・越谷市地域公共交通協議会(平成28年度は2回開催)</p> <p>検討状況 ・平成28年3月に策定した越谷市地域公共交通網形成計画に位置づけられている事業3-1(市民との連携による新たな公共交通の仕組みの形成)を進めるため、ガイドラインの作成に向け、市内7地区において、公共交通地区懇談会を開催(7回開催、その他、サイクルアンドバスライド駐輪場の整備に関して1回開催)し、市民の皆さまのご意見を伺いながら検討している。 【事業実施状況】 ・公共交通の利用促進を図るため、こしがや公共交通ガイドマップを更新し、市民の皆さまに配布・配架を実施するとともにバス利用者の利便性向上を図るため、川崎神社及び北川崎自治会の協力のもと、「川崎神社前のバス停」の付近にサイクルアンドバスライド駐輪場を整備した。 ・高齢者、障がい者、妊婦をはじめ誰もが快適に路線バスを利用できるようノンステップバスを導入する事業者に対し、補助金交付を行った(2業者、6台)。</p>	形成計画では、市民との連携による新たな公共交通の仕組みの形成(ガイドラインの作成)の実施主体は、市であることから、ガイドラインの作成に向け、市内の鉄道や路線バスを利用しづらい地域において公共交通地区懇談会等を開催し、市民の皆さまと市の役割分担や受益者負担割合などの具体化に向け、意見交換を実施していく。 その後、越谷市地域公共交通協議会において、当ガイドラインの作成に関する協議を行い、パブリックコメントの手続きを踏まえ、本市における新たな公共交通の導入に向けたガイドラインを策定する。 当ガイドラインの策定に関する課題としては、新たな公共交通の導入にあたり、市民、公共交通事業者、市の役割分担等について、明確にすることであり、公共交通地区懇談会や越谷市地域公共交通協議会を通じて協議を重ねていく。
更なる治水対策の推進	治水課	事業化に向けて検討中		<p>関係機関・部署 国、埼玉県等</p> <p>検討状況 平成25年台風26号や平成27年台風18号などの浸水被害の検証を行い、効果的な浸水対策を検討している。</p>	効果的な浸水対策について、河川管理者との協議を進めるとともに、事業化に向けた認可変更等の手続きを進める。 また、整備にあたっては、財源の確保などの課題があることから、全体整備計画を作成し、計画的に整備を進める必要がある。
道の駅の整備(再掲)	道路建設課	事業展開済み	<p>当該の検討過程等 平成28年度に、道の駅を設置するための基礎調査を実施するため「越谷市道の駅基礎調査業務委託」の発注を行い、候補地の決定、施設のコンセプト等の検討を進め、(仮称)越谷市道の駅基本構想(案)の作成を行った。 今後の進め方や課題解決への取組み 道の駅整備の実現に向け、今後、基本計画や用地取得、整備に向けて準備を進める。 国・県における補助金等の活用や整備及び管理運営を含めて、積極的な民間活力の導入に取り組む必要がある。</p>		

3 総括

KPIについては、37のKPIのうち、計画通りに進捗しているものが30、計画より遅れているものが5つ、平成27年度で事業が終了しているものが2つとなっており、事業が実施されているもののうち、80%以上が計画通りに進捗していることから、事業の取組は着実に進捗していると考えています。

また、数値目標については、進捗率には表れていないものが多くありますが、5ヵ年度計画の2ヵ年度目の実績であり、具体的な施策は概ね着実に進捗していることから、目標達成に向けて着実に進捗しているものと考えています。

さらに、今後検討する施策についても、15施策のうち6つの施策で事業展開が進んでおり、総合戦略の取組が着実に進捗しているものと考えています。

なお、人口については、平成72(2060)年に人口約29万7千人の人口維持とする越谷市人口ビジョンの目標推計値と実績値を比較したところ、平成29年度の推計人口33万7,482人に対し、実績値が33万9,677人(2,195人増)となっています。

今後についても、目標値を上回るような人口維持に向け、事業の取組を着実に推進していきたいと考えております。

【参考】

4月1日現在の人口

区分別人口	平成27年	平成29年		
	実績	推計	実績	実績－推計
総人口	334,693	337,482	339,677	2,195
年少人口(0～14歳)	45,127	44,811	45,128	317
労働人口(15～64歳)	211,827	210,667	212,251	1,584
高齢人口(65歳以上)	77,739	82,004	82,298	294
学齢前(0～5歳)	17,571	17,226	17,508	282
小学生(6～11歳)	18,143	18,287	18,329	42
中学生(12～14歳)	9,413	9,298	9,291	-7
前期高齢(65～74歳)	46,672	45,768	45,948	180
後期高齢(75歳以上)	31,067	36,236	36,350	114
内数超高齢(85歳以上)	6,344	7,402	7,452	50
総人口	100.0%	100.0%	100.0%	
年少人口(0～14歳)	13.5%	13.3%	13.3%	
労働人口(15～64歳)	63.3%	62.4%	62.5%	
高齢人口(65歳以上)	23.2%	24.3%	24.2%	
学齢前(0～5歳)	5.2%	5.1%	5.2%	
小学生(6～11歳)	5.4%	5.4%	5.4%	
中学生(12～14歳)	2.8%	2.8%	2.7%	
前期高齢(65～74歳)	13.9%	13.6%	13.5%	
後期高齢(75歳以上)	9.3%	10.7%	10.7%	
超高齢(85歳以上)	1.9%	2.2%	2.2%	